

収穫終盤 農作物生育状況

十勝では収穫作業が終盤を迎えています。ビートの収穫は終盤に差し掛かり、ながいもなどの根物野菜の掘り取り作業はピークとなりました。

ゆとりみらい21推進協議会がまとめた10月15日現在の農作物生育状況によると、てん菜（移植）の根周は41・9cmと平年よりやや大きく推移しています。

収穫作業が終わった飼料用とうもろこしや馬鈴薯は5～7日程度早く収穫が終了し、てん菜・大豆においては平年より6～8日程度早く収穫が始まりました。小豆においては平年より2日程度早く収穫期を迎えております。

秋まき小麦については、播種及び出芽期は平年より5～6日程早くなっている状況です。

ながいもの作柄につきましては、調整長、いも重、いも径、乾物率ともに平年を上回っております。

また、10月8日に当組合の長いも坪堀調査が実施され、重量・収量ともに前年よりも下回る見込となりました。

収穫期の終盤と共に疲労もピークとなり、交通事故・農作業事故が多くなっていく傾向があります。夕暮れが早まっており、視界が悪くなっているため、無理な作業を避け、ゆとりをもって収穫作業を行うよう心がけましょう。



ビート収穫作業



馬鈴薯選別作業

甜菜立会人目合わせ研修会

10月9日、令和3年度原料甜菜の受け入れに係る立会人目合わせ研修会が日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所にて開催されました。

目合わせ研修会については、JA幕別町と合同で行われ、幕別地区の立会人・事務局20名程度が参加し、タップの認識を深めるとともに、定置における原料の目検数値や貯蔵場における作業の確認を行いました。

日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所では本年度原料の受け入れ計画107万トンを見込み、10月10日より受け入れを開始し、貯蔵場は10月15日から12月29日まで受け入れを行う予定です。JAさつない管轄の甜菜収量は74t/haを見込んでおり例年以上の収量が見込まれています。



青年部 幕別町立学校食育推進事業

平成25年度より幕別町教育委員会の主催で実施されている食育推進事業が当農協青年部の協力により開催されました。今年度は、10月25日に札内北小学校の3年生46名が千住地区の圃場でビートの収穫とトラクター及び機械の見学説明会、甜菜に関する青空授業が行われました。

ビートの収穫では、生徒達は大きなビートを探し、無我夢中で作業に没頭していました。一人で引き抜けない時は友達と一緒に協力して引き抜く姿もありました。トラクター及び機械の見学説明会では、青年部員がトラクターについての説明、ビートの収穫方法の説明をしました。青空授業はビートに関する授業を行い、〇×クイズやビートが出来るまでの流れについて学びました。

